第255回　教育研究評議会議事録

Ⅰ　日　時　令和8年10月15日（木）　10:00～10：55

Ⅱ　出席者　評議員　永田、加藤(光)、竹中、遠藤、古田、歳森、加藤(和)、西尾、平松、中内、千葉、大根田、呑海、野手、関根、吉瀬、仏山、小野(正)、佐藤(忠)、二瓶、岡島、菅谷、島田、明石、宮本、中野、有田、河辺、佐藤(豊)、會田、山本、辻村、臼山、牧本、初貝（代理：二瓶）、鈴木、中田、野呂、藤井、田中、高橋、柏木、高木、大矢、櫻井、金保、小野(肇)、重田（代理：中務）、柳沢(裕)、柳沢(正)、荒巻、軽部

Ⅲ　議　題

〔審　議〕

(1)　極限量子物理学研究センターの設置及び設置に伴う法人規則等の一部改正について ---------- 〔審議1資料〕

〔報　告〕

(1)　第160回経営協議会報告について ---------- 〔報告1資料〕

(2)　第5期中期目標期間に向けた学内予算編成の見直しについて ---------- 〔報告2資料〕

(3)　令和8年度筑波地区防災訓練の実施について ---------- 〔報告3資料〕

(4)　令和8年度（7～9月）ハラスメント苦情相談・コンプライアンス通報状況について ---------- 〔報告4資料〕

(5)　国際交流協定締結状況 ---------- 〔報告5資料〕

(6)　その他 ---------- 〔報告6資料〕

Ⅳ　議　事

〔審　議〕

(1)　審議1資料に基づく審議の結果、原案通り承認された。

〔報　告〕

(1)～(2)　報告1～2資料に基づき報告があった。

(3)　報告3資料に基づき報告があった。

なお、評議員（学生）から、学生の安否報告訓練における回答率の低さについて、学生は所属する支援室からANPICへの登録を行うよう周知されても、訓練メールに対して報告が必須であるという意識がない可能性がある旨意見が述べられた。永田学長から、所属の学生に安否確認に反応するよう周知徹底されたい旨の発言があった。

(4)　報告4資料に基づき報告があった。

(5)　報告5資料に基づき報告があった。

なお、永田学長から、国際活動の活性化を前向きに検討願いたい旨の発言があった。

(6)　報告6資料に基づき、未来社会デザイン棟の活動について報告があった。

なお、永田学長から、学生で構成している未来社会デザイン棟事業推進チームの活動の幅を広げるため、未来社会デザイン棟の学内外での活用を進めることに協力願いたい旨の発言があった。

以　上